

# 想定される風水害に事前情報収集で備える

災害によって異なる避難所、自宅避難という考え方にも対応した備え

## 災害によって異なる避難所

さいたま市の避難所は、発生した災害や、災害発生からの時間などで避難所が異なります。マンションから近い指定緊急避難所注1)は指扇小学校(2階以上)と土屋中学校(3階以上)です。洪水の沈静化後の指定避難所注2)は指扇小学校だけになります。台風19号後、今年3月から見直しがされました。

## ハザードマップで避難ルートを確認

さいたま市地図情報から洪水ハザードマップを確認します。同時にどの避難経路が安全かを確認します。



## 自宅避難を考える

地震によるマンション倒壊の危険がある場合などを除き、自宅避難を考えます。新型コロナウイルスが蔓延しているような状況も考えられます。水害の場合は垂直避難(上階への避難)を考えます。

## 避難勧告・避難指示(緊急)

災害時の避難勧告・避難指示(緊急)は市町村長が出します。

気象に関する警報、注意報と特別警報は気象庁が出します。

警報・注意報は現象が発生する概ね3~6時間前に発表されます。夜間・早朝に警報発表の可能性がある場合は、夕方に注意報を発表し、警報を発表する可能性のある時間帯を明示することになっています。

猶予時間が設けられているのです。この猶予時間内の対応が被害を小さくする決め手になります。

注意報の段階から気象情報に気をつけている必要があります。

## 記録的短時間大雨情報

大雨警報を発表中に、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間雨量を観測した場合、さらに重大な災害の発生の可能性が高まったとして、実際的大雨の様子をいち早く知らせることにより、一層の警戒を呼びかけるものです。

## 日頃の手入れ

ベランダの雨水排水用の溝やパイプがつまっていませんか。風で飛ばされるようなものを置いていませんか。風で倒れ窓ガラスを割ってしまうような危険はありませんか。事前に室内へ移動できるように工夫しておきます。

## 情報の取得手段

災害に関する情報は発信元(引用元)が公共性の高い信頼できる情報か、最新の情報かを確認します。

停電や故障も想定し、複数の情報取得手段を準備します。

## テレビ(テレビ埼玉ほか)

→ リモコンの[dデータ]ボタンを押す

## インターネット

→ 気象庁HP、さいたま市HP

携帯ラジオ(AM/FM/ワイドFM)注3)

→ FM NACK5、CityFMさいたま注4)

## スマートホン

→ 防災アプリ(Yahoo!防災速報など)

## 携帯電話

→ さいたま市防災行政無線メール

t-bosai-saitama@sg-m.jpに空メールを送付、返信の手順に従い登録

注1)切迫した災害の危険から緊急に逃れ、身の安全を確保することができる場所です。地震や洪水、大火災等の異常な現象の種類ごとに指定しています。

注2)災害時に、住宅の焼失、倒壊等により生活の場を失った人を受け容・保護し、一時的に生活が可能となる機能をもつ施設です。



注3)電池を使う機器で日頃使わない場合は電池漏れを防ぐため、電池を外した状態で一緒に保管します。

注4)コミュニティFM。87.3MHz

